

【鬼北町教育委員会】

Ⅰ 人Ⅰ台端末の利活用に係る計画

1. Ⅰ人Ⅰ台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

令和 6 年度 鬼北町教育基本方針に、「鬼北町教育力向上推進委員会が作成した「学力向上3カ年プラン（第4期）」に「一人一人に配備したタブレット端末を活用したICT教育の充実により、個別最適な学びを実現します。」と定めており、Ⅰ人Ⅰ台端末を活用して子どもたち一人一人の可能性を伸ばし、新しい時代に求められる資質・能力を着実に育成していくことを目指す。

2. GIGA 第Ⅰ期の総括

令和2年度に情報教育主任委員会にて検討を行った上で、Ⅰ人Ⅰ台端末として Chromebook を整備し、端末の効果的な活用のため、試用期間を活用して教職員が検証した上でドリルソフトや授業支援ソフトの導入を行った。

また、町でモバイルルーターを購入して、通信費は町の負担として貸し出すことで、全員が持ち帰り学習ができる環境を整えた。

Ⅰ人Ⅰ台端末の活用のため、ICT活用教育研究推進校を毎年Ⅰ校指定し、研究授業を行うことで全校における教職員の ICT スキルの向上を図った。

Ⅰ人Ⅰ台端末を使った学習は日常的なものとなっており、今後更なる利活用を図っていく。

3. Ⅰ人Ⅰ台端末の利活用方策

今後、Wi-Fi6E 又は Wi-Fi 6 に対応した Chromebook の導入を計画しており、端末の性能が向上することにより、今までのノウハウを活かしながら、更なる利活用が図られると見込んでいる。

今年度、要望により画像・動画編集ソフトやデジタルホワイトボードソフトの追加導入を行っており、Ⅰ人Ⅰ台端末を活用して、今後様々な授業で活用される予定である。

ICT活用教育研究推進校による研究授業についてはⅠ人Ⅰ台端末を利用して今後も継続実施し、教職員の ICT スキルの更なる向上を図る。

町内学校間や他町の学校とのⅠ人Ⅰ台端末を利用した合同授業も行っており、近隣自治体が当町と同一環境になる見込みであることから、町内の児童生徒と他市町と児童生徒との交流がより一層図られることが期待される。

また、ID 登録等の ICT 関係の運用に関しては、教育委員会において対応することで、学校側の負担を低減し、教職員が習熟度の向上や学校内での情報交換に注力できる体制を整え、Ⅰ人Ⅰ台端末の積極的な活用を促し、ICT 環境を利用した個別最適な学びの保障を推進する。